



森のなかま

2019年7月号

NO. 135 (継続280号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

AD2019. 令和元年度 かながわ森林インストラクターの会 通常総会開催 4つの会活動方針を掲げ新役員とともに活動始動！！

令和元年6月16日(日)特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会通常総会が総勢198名(委任状含む)の参加を得て開催された。総会会場は日揮株式会社様のご好意よりお借りしました「日揮株式会社横浜本社 5階会議室」。2部構成の運営で13:00から開催され、1部司会進行は森本正信氏(5期)。久保重明理事長(8期)の挨拶で始まり、来賓ご挨拶を頂いた後、議長柏倉紘氏(4期)、書記小松立史氏(14期)、野村昭憲氏(14期)を選出し第1号総会議案から議事に入った。

総会の様子

司会進行 森本氏



久保理事長



議長 柏倉氏



又本総会にご多忙の中を(県環境農政局緑政部水源環境保全課)課長 羽鹿様、(同)主事 林様、(かながわトラストみどり財団)専務理事兼事務局長 西ヶ谷様にご来賓頂いた。



西ヶ谷様、林様、羽鹿様

○今年の活動に当たり会が掲げた方針は

1. 県民参加の森林づくり活動や森林再生パートナー企業・団体そして学校の森林活動を積極的に支援すると共に参加者から信頼される指導者の育成を目指す。
2. 県行政やトラストみどり財団およびその関連機関と更なる連携をはかり、水源環境の保全・再生に努めると共に、その啓発活動に積極的に参加する。
3. 財政基盤の確立を目指し臨時総会で決まった財政健全化施策を着実に推進する。
4. 森林に関する催しを積極的に開催し、諸団体・メディアに対して会の活動を発信する。

○また、新役員(理事12名、監事2名)の選任が行われた。理事長には久保氏が再任された。(任期2年)

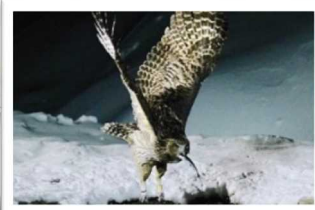


○第2部は

鈴木松弘氏(5期)により
厳冬の知床「シマフクロウと流氷に飛翔の猛禽類」の
写真撮影時の苦労秘話と傑作揃いの
写真紹介がおこなわれ大好評でした。
まさしく冒険写真家でした。

(取材、写真: 広報部 松本⑩、笠原⑭)

鈴木氏の話に聞き入る会員



スライド写真の一例。
紙面では迫力が伝わらず残念です。

(公財)かながわトラストみどり財団主催 2019 年度 第1回 ブラッシュアップ研修
「野外作業における熱中症の予防と対処法」他

日時:令和元年 5 月 19 日(日)10:00~15:00 晴れ 参加者:60 名近く(会退会者も含み)

場所:足柄上郡開成町吉田島 県足柄上合同庁舎(5 階第会議室)

<研修生 石川 眞二 15 期>

本年度 1 回目のブラッシュアップ研修が 5 月 19 日(日)に、おなじみの足柄上合同庁舎で、多数の参加者で実施されました。講師はメディックワークス代表の恵(イオ)秀彦氏で、解り易いパワーポイントと講義にロールプレイングの実技を合わせて、充実して有意義なあつという間の貴重な時を得ました。

主題の「熱中症」では、[事前予防]を体作りから当日の対策やチェックリストの活用を教わりました。

[対処法]としては、環境実体(状況)の把握から安全確保、他の疾病(既往症・脳や心疾患・低血糖等々)や怪我の可能性の見極め・把握に努めながらの対処が求められます。



講義風景と恵(イオ)講師



意識の確認 動作の確認



体温の上昇を防ぐ(太い血管を冷やす)



現在、熱中症の重症度分類は 1 度から 3 度の 3 分類が一般化され、2 度以上が医療機関へのアクセスが必要となります。また経過が容易に重症化する可能性があります。熱中症は対処に気を付けないと、命の危険と隣り合わせと痛感しました。

その他の「野外のファーストエイド」として、

- ・足首の応急手当～テーピング～筋痙攣の応急手当
- ・応用副子の利用～固定の留意点
- ・危険生物(主に蜂)への対処対応

等が、講義と実技を合わせて実施されました。



テーピング 筋痙攣の応急手当

救急法共通の重要事項の、セルフディフェンスを伴った状況評価/安全確保は勿論、医療機関へのアクセス可能な時間・距離、周辺環境により軽傷でも重症化しやすい事や、人的・物的資源の制限等、双方ともに活動領域が野外である故の対処対応が求められます。

講師が披露してくれた[手持ち装備品]からも、沢山アイデアを頂きました。

時期も今がぴったりで、活動時のみならず日常生活や仕事等、あらゆる場面で有意義となる研修でした。

頂いた資料を読み返し、フローチャートや内容を自然なかたちで身に付けようと思います。

講師の著書「簡単にできる/山のファーストエイド」の電子書籍版を購入しました～皆様にお薦めします。

(写真:広報)

海側に広
葉樹天然
林が続く
シラカシ
の若葉が
美しい



見学会 東京大学千葉演習林

令和1年5月16日(木)参加者 25 名



北限種バクチノキ



清澄寺大スギの円板 (林業博物資料館)

<記 森林文化部会 内野 ミドリ 9期>

新緑の東京大学千葉演習林を見学させていただいた。昨年 12 月に森林文化講演会の打ち合わせで東京大学の蔵治光一郎先生を訪ねた時に、「千葉演習林の見学」を伺ってみた。その場で千葉演習林の担当者に連絡をしてくださり、受入れ可能な返事をいただいた。数日後の部会運営委員会で 31 年度の見学会として実施することが決まった。

千葉演習林の担当は、技術職員

清澄寺大スギの円板 (林業博物資料館) の三次氏で、事前の書類などの手続き、当日の案内と熱心に対応してくださった。マイクロバスは 25 名定員満席。予定の 10 時に南房総の鴨川市内陸部に位置する清澄の駐車場に到着。午前中は清澄作業所周辺の観察と森林博物資料館の見学。午後は、お目当ての高齢人口林、広葉樹天然林、モミ・ツガ天然林を見学。関東ふれあいの道になっている林道を 2~3km 歩いて解説を受けて観察した。

現場で解説を受けて千葉演習林の特徴など分かった主なことは、

- ・東京大学は千葉を含めて日本各地に 7 ヶ所の演習林を持っている
- ・植物が豊富(暖温帯北限種、冷温帯南限種、山地性遺存種*が同所的に分布) *1 万年前の氷河期に分布を広げ、その後の温暖化でこの地域に残された植物例、北限種:バクチノキ、南限種:イヌブナ、遺存種:ヒメコマツ、フサザクラなど
- ・演習林創設前に植栽された高齢人工林(見学した今澄スギは 1859 年に植栽、雪害、竜巻、台風などで一部に被害を受けている)



日本で最初の大学演習林 1894 年に創設
記念碑と案内者(解説)の三次氏



針葉樹の天然林 上層木はモミ・ツガ

・針葉樹天然林の上層木はモミ・ツガ、下層木は主にシイ・カシ類からなる。

・広葉樹天然林は旧薪炭林、二次林とも呼ばれ、構成樹種はスダジイ、カシ類、コナラ、ケヤキ、カエデなど。

この見学会で、神奈川の森林と千葉の森林を比べることができ、大変有意義であった。



経路の左が今澄の高齢スギ
1 本ごとに番号と胸高直径を測る位置が記されている

参加者

井出①、菊地①、足立④、堀江④、佐藤⑤、滝澤⑤、武者⑦、若林⑦、阿部⑧、野田⑧、内野⑨、水津⑨、高橋⑨、水口⑨、大澤⑩、小笠原⑩、宮下⑩、上宮田⑪、真貝⑪、福島⑪、宇田川⑬、大原⑬、國弘⑭、小杉⑭、妙泉⑭

活動短信

今回の掲載は令和最初の

AD2019.R1 年 5 月 7 日～R1 年 5 月 28 日分です。

寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラストより

蛙始鳴 5/5～5/9 頃

かわずはじめてなく

蛙が鳴き始める

第十九候 立夏 初侯



紅

べにばなさかう

紅花が盛んに咲く

第二十三候 小満 次侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので
写真もあれば 1 枚添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財) かながわトラストみどり財団、**看** 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合 XX 様

例 川崎市公園緑地協会・XX 様

イ インストラクター (○数字: 期) **研** 研修枠

以下の本文を概ね 400 字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

◆ 株式会社鈴廣蒲鉾本店 新入社員研修

日 令和元年 5 月 7 日 (火) 10:00～13:00、曇り

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 23 名

県 橋本様、林様、末広様

スタッフ 川上様

イ L 牧石⑭ 佐藤⑤ 松石⑬

5 月 7 日 (火) 超大型 10 連休の翌日、(株)鈴廣蒲鉾様の
新入社員研修(間伐・森林講話)がやどりき水源林で実施
されました。

10:00 やどりき水源林ゲート前で参加者 23 名をお迎えし
た後、用具倉庫前まで移動。3 班に班分けを行い、インス
トラクター紹介、準備体操、用具を分担し「恵の水の森」看
板前に移動後、参加者全員で記念写真撮影を行いました。
間伐場所への移動は場所により傾斜が有り移動に苦

労された班もありました。

間伐作業前に間伐の必要性、間伐手順、周囲の状況を確認し、間伐スタート。交代で受け口作業後、追口作業を行
い、合図と共にロープを引くとミシミシと音をたてゆっくりと樹
高 15m 以上のヒノキが、決めた伐倒方向に倒れると、その
迫力に拍手と歓声が上がりました。



間伐作業終了後の森林講話は「蒲鉾の原料となる水と
魚」森との関係について、真鶴半島にある魚付保安林を例
に、お話をさせていただきました。参加された皆様、お疲
れ様でした。

(記 牧石 稔 ⑭)

かながわしずくちゃん Facebook は下記 URL で見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 都立桜町高校生による奉仕活動 植樹

日 令和元年 5 月 10 日 (金)、晴れ

場 相模原市緑区 宮ヶ瀬ダム・鳥居原園地

参 高校 1 年生 335 名 (生徒 319 名、教師等 16 名)

スタッフ (公財) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 柳川 様
園地管理員 6 名

イ L 小沢⑨ 小野⑦ 松石⑬ 白畑⑦

午後からの活動だったが、カラリと晴れた心地よい日と
なり、植樹作業は大いに捗った。東京からバスでやって来
た新 1 年生。

全体挨拶の後、各班のリーダー 2 人に植え方のレクチャー
をした後それぞれのエリアに向かう。さすがに穴を掘るな
どの段取りも良くスムーズに植えられていった。

都立桜町高校の植樹活動は、2011 年にスタートし、植樹
累計は 1700 本。この日植えられた 160 本を加えると 1860
本となる。宮ヶ瀬ダム周辺にドウダンツツジの白い可憐な
花が毎年増えて行く光景に高校生の皆さんの笑顔が重な
って行くことだろう。

(記 白畑 まどか ⑦)

◆ 横浜市立荏子田小学校 高取山登山

日 令和元年 5 月 17 日(金)10:45～15:00、晴れ

場 愛甲郡愛川町 愛川ふれあいの村～高取山

参 61 名(小学 4 年生 55 名、教師等 6 名)

イ L 西出⑫ 柏倉④ 渡部⑦ 小沢⑨ 永松⑫ 松石⑬

「水源の森を守るための人々の努力を知ろう」というテーマをもって高取山登山に取り組む学校です。

数日前までは、心配されていた天気でしたが、今日は五月らしい晴天に恵まれました。“はじめの会”は、子供たちによってテキパキと進行されて、一体感が盛り上がったところで、登山開始になりました。6 班に分かれて、インストラクターから注意点と心構えなどを話して歩きはじめました。いきなり急な登りが続くコースで、子供たち一人ひとりのペースが合い難いことが見受けられましたが、元気でどんだん行きたがる子をなだめ、登山では遅い人に合わせる協調の大切さなども話し、全体的にゆっくりと登りました。

途中で、インストラクターから、森林のはたらきと水源林を守ることにについてなどの説明をしましたが、皆、興味深く聞き入っている様に見られました。今回の学校のテーマが浸透しているのでしょう。

予定通りの時間に、全員が山頂に達することが出来ました。山頂で楽しい昼食をとり、展望台に上って景色を眺めたり、暫しの頂上での時間を満足出来た様でした。下山は、合唱しながら歩く班も見られ、体力的には余裕が感じられました。

天気に恵まれたことも幸いして、一人の脱落者もなく全員無事に、終了できました。あまり登山には馴染みがない子供達の様でしたが、この体験で、少しでも自然への関心が深まっていることを期待します。

(記 松石 藤夫 ⑬)

◆ 持田製薬株式会社 森林育成ボランティア

日 令和元年 5 月 18 日(土)11:00～13:00、晴れ

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

参 持田製薬(株)社員 35 名

県 新谷(あらたに)様

イ L 小沢⑨ 中村(公)⑪ 真貝⑪ 斎藤(夏)⑬ 水野⑭

持田製薬(株)の間伐活動が大雄山の近傍・塚原ボランティアフィールドで行われた。看板の除幕式の後駐車場に集合し、インストラクターから当日の活動の概略説明を実施した。軽い体操の後、ヘルメット・ゴーグル・間伐ノコ・枝打ちノコなどの装備を身に着け、ロープ・滑車など間伐道

具を持って活動場所に向かった。林地は小さな流れの傍らにある約 15 年生のヒノキの植栽地で、ひどく混み合いどの木を伐倒しても“掛かり木”となる様な場所だった。

参加者は 8～9 名構成で 4 班に分かれ、インストラクターの伐倒の詳細な説明を受けながら、多くの参加者にとって初めての間伐体験を実施した。伐倒本数は各班 1 本を目標にして、伐倒材は玉切り・枝落としをした後、適当な太さの部分でコースター製作を行った。コースター製作はノコギリの使い方練習になるので、今後の活動の助けにもなると思われる。



短い時間だったが、製作したコースターをお土産に活動は終了した。

(記 真貝 勝 ⑪)

◆ 富士通エフ・アイ・ピー株式会社

自然散策 と 森林癒やし体験、間伐体験、

日 令和元年 5 月 18 日 10:30～12:00、曇り

場 足柄上郡山北町世附字日影山等

○(自然観察・森林癒やし体験)

(富士通FIPの森～世附林道～三保ダム)

参 大人 20 名 スタッフ 2 名 計 22 名

県 石井様 末廣様

イ 草野⑧ 村井⑨

間伐体験と自然観察とに分かれての活動でしたが、まず、富士通FIPの森の前に集合し、挨拶・オリエンテーション・写真撮影の後、各グループに分かれて活動開始。自然散策班は地図上の現在地の説明などの後、2 班に分かれて、10 時半に出発。世附林道A、B・一般車通行禁止区間の林道を三保ダムまでゆっくり散策した。

まず、世附川ロッジ付近の植物、アケビ・フサザクラ・コゴメウツギなどを観察し会話も弾ませながら歩を進めた。

途中、オニグルミ・コクサギ・キブシ・マムシグサ・タニウツギ・ホオノキなどの植物の話などにも、耳を傾け、崖線から

の湧水、小さな滝では、森林の癒やし効果を感じていただきました。更には、お昼も近いのか、サンショウの香りにウナギ重を想像していた参加者もいらっしゃいました。

予定したタイムスケジュールに合わせるため、後半はやや急ぎ足の観察になってしまいましたが、無事に三保ダムに到着。

新緑に彩られた森林の中でご満足いただいた活動になりました。

(記 ⑧草野 弘 ⑧)

○ (間伐体験)

(世附 富士通 FIP の森)

参 大人 37 名 スタッフ 7 名 計 44 名

県 石井 様 末廣 様

イ L 小野⑦ 大道⑥ 鈴木⑧ 松山⑩

吉田⑪ 西出⑫ 石井⑬

霧雨まじりの空。薄紫色の花。行先の天気を気にしつつ国道 246 号を丹沢湖方面へ。それでも、山の緑に映える桐の花が視界に入るたびに気持ちだけは晴れる。そんな気分での始まりでした。

世附の森は、長期に渡る富士通 FIP 様の活動により、樹高が高く明るさを感じる森の印象を受けました。その中から樹齢 30 年以上の杉檜を一本ずつ選木しました。

参加者の皆様の楽しそうな雰囲気の中、社長、スタッフによる開始式の後、6 つの班に分かれました。私は第 6 班で、男性 6 名の営業グループの方々を担当させて頂きました。皆様、間伐は初めてとお聞きました。

私達 6 班のエリアは杉林から檜林に変わる、今回では一番高い所でした。伐倒場所へたどり着いた時には、皆さんの息が多少荒くなっていましたが、早速の私の説明に耳を傾けて下さり、予想していたヤマビル達の登場にも怯むことなく、皆んなで声を掛け合って作業にかかりました。

そして、杉檜の大木がストレートに倒れた迫力に、7 人が共に歓声を上げました！作業終了後、上を見上げると伐倒により出来た空間から、朝の車からの眺めには無かった陽光が林内を照らしました。

(記 石井 裕 ⑮)

◆ 未病対策プログラム「ジオパークの矢倉岳に登ろう！」

日 令和元年 5 月 19 日(日) 8:00～15:30、小雨後晴れ

場 南足柄市内山県立 21 世紀の森～矢倉岳標高 870m

参 6 名(男性 3 名:女性 3 名)

スタッフ 21 世紀の森 辰己様 早川様

イ 上宮田⑪

本活動は 普段の生活において「心身を整え、健康な状態に近づける」未病対策プログラムの一環で、21 世紀の森、園内から箱根ジオパークの認定場所である「矢倉岳」山頂を目指すものです。

開成駅集合から送迎バスご利用の参加者と現地集合の参加者も 8 時には集合し受付・オリエンテーション時にはルートや安全確認も共有しました。恒例の「未病対策プログラム」の旗をバックに写真撮影をした後本日の登山口である万葉公園まで車で送って頂きます。車窓からはヤマフジ・ヤマツツジ・そして濃淡の新緑を楽しみながら矢倉岳山頂も目の前に広がり期待も高まります。登山道ではコクサギ・山椒・マツカゼソウ・アブラチャン・クロモジなどの香り体験も取り入れウツギ類の花々にも触れます。

行く手の森林に陽光が指しますと野鳥の声がまるで私達を先導するように「ほっほ〜」「ほっほ〜」とツツドリはみなさんに人気の声の主となりました。

山頂付近ではホタルカズラとエビネの群生に出会い 11:20 に到着し早めの昼食をしながら懇親を深めました。

浜居場城址経由の下山時には鹿の痕跡(皮はぎや足跡・そしてぬたば)も見ることができ、その生態系にも触れる事が出来ました。上部の展望台につくころは青空も広がり、眼前の西丹沢～表丹沢の大きな山々に「何て素晴らしい景観！」との声が上がります。

21 世紀の森が初めての方もおり園内の森と矢倉岳ルートにも魅了された様子です。「参加して良かった」「開成駅までの送迎が魅力！」「この近隣の地図が欲しい！」などの振り返りの声も頂きました。

何とんでも 極め付きは 21 世紀の森の辰己館長のご厚意で頂いたコーヒーとデザートに疲れも飛び、ご提供頂いたふれあい館のお二人には感謝で一杯です。

アンケート結果からも大成功のプログラムだと確信いたしました。

(記 上宮田 幸恵 ⑪)

熱中症を防ごう！

人も自然も丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。<http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 県民参加の森林づくり 除伐

日 令和元年 5 月 26 日(日)7:50~15:00、晴れ

場 足柄下郡箱根町元箱根(県有林)

参 87 名(大人 85 名・子供 2 名)

県 森林再生課 濱名課長

財 豊丸課長、大木様 看 小林様

スタッフ 小田原森林組合 山室様

イ L内野⑨ 柏倉④ 小野⑦ 山崎⑦ 鈴木⑧

水津⑨ 西出⑫ 宇田川⑬ 大原⑬ 古舘⑬ 松石⑬

羽鳥⑭ 阿藤⑮ 大見⑮ 鶴井⑮ 妙泉⑮

5 月としては異例の真夏日が続いた令和第 1 回目の県民参加の森林づくり「除伐」が箱根町元箱根の県有林で開催されました。

オリエンテーション、ストレッチ体操の後、本日の安全目標「周囲確認よし！」作業開始です。

富士箱根伊豆国立公園内のエリアであることから、景観に配慮した作業及びイノシシ等野生動物の活動を抑制すべく藪状態を解消する環境づくりを目指した除伐作業となりました。

各班、休憩と水分補給の声掛けを行いながらマメザクラ、カエデ類等を伐らないように気を付けて直径 3cm 以下の木やササを伐る作業を進めました。今回初めてご夫婦でまた親子で参加された方も多くいらっしゃいました。

現場は、ほぼ平坦地ということもあり作業がはかどり無事予定場所は完了できました。

参加した皆様から「もっと作業がしたかった」という意見も多数寄せられました。ヒノキ林樹林下、箱根の高原という好環境もあり心配された熱中症もなく、楽しく除伐体験を終えることができました。次回も参加希望する方も多数いらっしゃいました。

(記 大見 文夫 ⑮)

◆ 横浜市立上瀬谷小学校 間伐体験

日 令和元年 5 月 28 日(火)10:00~14:00、曇り

場 相模原市緑区 長竹承継分収林

参 95 名(小学 5 年生 88 名、教師・インターンシップ 7 名)

財 内田様

イ L松本⑪ 柏倉④ 佐藤⑤ 小野⑦ 渡部⑦

齋藤⑧ 小沢⑨ 西出⑫ 松石⑬ 牧石⑭

5 月では珍しい 30℃ を超える日が続いたこともあり、事前の打ち合わせでは対象木周りの枝の片付け励行や熱中症に対して注意をする旨の話がリーダーよりありました。

今回の上瀬谷小学校では、野外体験学習の中に初めて間伐作業を取り入れたため、各班では間伐の必要性和内容、間伐作業時の注意事項について確認し、作業に取り掛かりました。生徒同士で知恵を出し合い、斜面での足場の確保や鋸の引き方を工夫しスムーズに倒木した班、かかり木を克服した班などお互いに声をかけながらチームワーク良く作業が進められました。



体験後の感想では、「もっと簡単に倒せると思っていたが実際は大変!」「間伐作業は一人では出来ない。みんなで進められて良かった。」「木を切ることが好き。将来、大工さんになりたい。」と頼もしい声も聞かれました。

最後にリーダーよりまとめのあいさつがされ、閉会となりました。

(記 齋藤 彰秀 ⑧)




かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で 5 番目 / NPO 法人で初めて委嘱されています。

令和元年度全国安全週間

2019 年 7 月 1 日~7 日

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は 8 月号です。

森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林ミニガイド

6月のトピックス

ウツギ類が終わりアジサイ類になりました。
マタビの白くなった葉がめだちました。



実をつけていました（寄大橋近く撮影 6/8）

7月の水源林

暑い夏。綺麗な森や川があるやどりきに
涼みにおいでください。蛙のカジカも
魚のカジカもお待ちしております。

「森の案内人」情報

案内人も張り切ってお待ちしています。

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご
連絡ください。

●問合せ：（公財）かながわトラスト

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikih27.html>

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松
田駅下車、富士急湘南バス「寄（やどり
き）」行き乗車約25分。

バス下車後（案内板あり）川沿いに徒歩35
～40分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

「やどりき水源林のつどい」が開催

参加者募集！夏休みの思い出を水源林で！！

開催日：令和元年8月3日（土）

場所：やどりき水源林（足柄上郡松田町寄）

やどりき水源林まで新松田駅から専用バスで
送迎いたします。9時集合

参加費：500円（中学生まで無料）

送迎バス受付時支払

申込方法： <https://sec26.alpha->

ktm.or.jp/cgi-bin/mail/event/index.htm

（Ctrlキーを押しながらクリックすると開きます）。

／メール／FAX／はがきにてお申し込み下さい。

（行事名、住所、電話番号、参加者全員の氏名を記入）
のうえ、（公財）かながわトラストみどり財団
横浜市西区岡野 2-12-20 Tel045-412-2255 まで



◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel：090-7962-3168

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<電子配信企業等パートナー様向け担当>

8月号から変更予定です。

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

Fax: 045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

Tel：080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

森のなかまは過去号もご覧になれます。

（ホームページ） [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01

（HP担当：井出恒夫）

編集後記

★先日の総会で、5期鈴木松弘様より知
床で生息する猛禽類について紹介されまし
た。鈴木様の写真から、極寒の中で生き
生きとした鳥たちの姿が間近で感じられ
感動しました。

（笠原）

★今日は雨がかなり強く降っています。
「ゲリラ豪雨」って言葉が良く使われるよう
になりました。昔の「梅雨」ってのは、しと
しとと静かに降るもんだと教わったしそう
経験したんですが。温暖化ってのは、単
に温度が上がるだけでなく揺らぎ（誤差）
も大きくなりもんだと実感しています。

（吉田）

★6月に総会が開かれ、理事が大幅に
入れ替わることが決定しました。私も未熟
ながら理事となり、微力ながら会の発展
に貢献できたらと思います。よろしく願
いします。

（黒川）

★今月は会報作成史上の大ピンチでし
た。パソコンをダウンさせてしまったので
す。家内の手首回復手術も重なり発行時
期をずらす腹もくりました。ましてNW
のJOB一部担当もやる事になり、クラウド
を構築しどこでもできるようにしかけたば
かりでした。バックアップは5月までしか
してなく。何とか95%は修復できました。
ヤレヤレです。後10年若さがほしい。
追記）

6/23に愛川ふれあいの村、長竹で間伐
活動予定の西本郷小学校の活動が中止
になりました。愛川刃物逃走男のせいデ
す。いい加減にしてもらいたいです。

（松本）

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、
郵便局備付けの郵便振替を利用してお
申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで
2000円をお振込み下さい。振替用紙に
は、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回／1年
間お届け致します。

編集人：松本 保

広報部：吉田郁夫 黒川敏史

笠原かずみ 加藤優美

阿藤壽孝、竹内明彦

支援：伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

南足柄市 金太郎が産湯を使ったと伝えられる「夕日の滝」で、夏の訪れを告げる 第53回夕日の滝開き が開催されます。



7月7日（日）11時～

お問い合わせ先：

南足柄市産業振興課 商工観光班

TEL.0465-73-8031

<http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kankou/matsuri/p04360.html>

交通案内：伊豆箱根鉄道大雄山線

「大雄山」駅下車→箱根登山バス「地藏堂」

行き「地藏堂」下車→徒歩約15分